

(株) ウエマツ

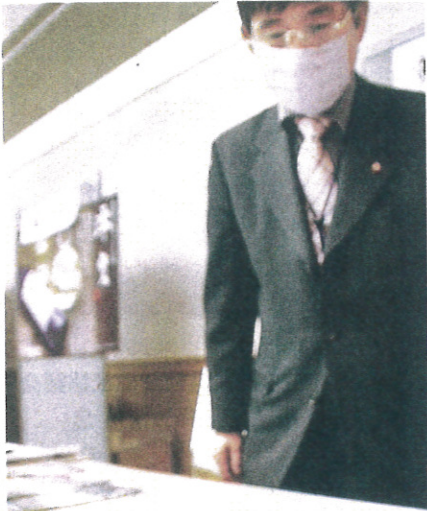
綿マスクに銀ナノ粒子

ウエマツ(福井)開発 花粉寄せず

染色加工のウエマツ(本社福井市下河北町、上松信行社長)は、抗菌

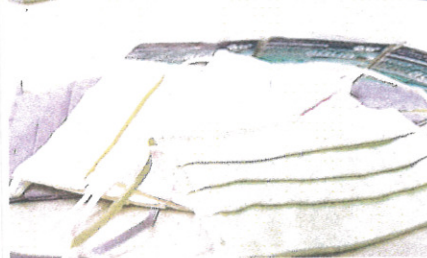
や消臭効果のある銀ナノ粒子を高密度で付着させたマスクを開発、販売を始めた。銀イオンの効果で花粉を寄せ付けず、これから

銀ナノ粒子を高密度で付着させたウエマツのマスク。福井市の福井商工会議所ビル



の時期は花粉症対策としても活用が期待できる。

7日、福井市の福井商工会議所ビルで開かれた



同会議所の合同プレス発表会で披露した。

染色加工の技術を生かし、綿ガーゼの生地に特殊処理を施した。同社によると、銀ナノ粒子の定着量は1平方センチ当たり40

50%。同社によると一般的には同3%以下。高濃度化により高い効果が得られるという。10回の洗濯後も3%以上の定着量を確保した。

越前水仙や足羽川の桜といった、自然の草花を使って染色。5色を用意した。綿は国産を使用、ひだ寄せ加工や縫製も県内で手掛けている。サイズは子ども、女性、男性用の計3種類。1個500円で、同社ホームページや同社製品取扱店で販売している。